

まずは、今ないものばかりに

目を向けないことです。

愛知学院大学を昭和 55 年に卒業しました。株式会社ギガスの代表取締役をしている兼子義之と申します。

私が普段から心掛けているのは、「足るを知る」ことです。世の中、好景気のときもあれば、不況のときもある。不況のような困難な状況に陥った場合、無いものを考えるのではなく、今あるものをいかにして活用するかを常に考えて取り組んでいます。そのためには目標を持つことが大切で、特に「いつまでに何をするか?」と、自身で掲げた目標を具体的に数字で定めることが、目標達成に大きく近づくポイントだと私は思います。勉強方法として、人に聞いたり、習ったりして習得する知識も大事ですが、それだけでは教えていただいた人を越えることはできません。自らの目標を達成するために、自己投資をすることも重要です。今の自分に必要な本や参考書を自分自身の判断で選び、自らの力で勉強する。そうすることで、より有意義な学生生活になると感じます。

例えば習慣的に雑誌を読んだり、月に一度単行本を読んだり。新聞や雑誌、単行本などをいつ読むのか自分で決めて勉強するのです。特に新聞は、自分自身の知識の成長度合いが分かりやすい読み物だと思います。スポーツが好きな人はスポーツ欄、就職活動中の人は求人情報、経済に興味がある人は株価。初めは自分が関心のある内容しか読んでいなかったとしても、日々勉強する過程で視野が広がり、徐々に読むページ数が増えていくと思います。自分の知識が豊富になる喜びをぜひ、味わっていただきたいです。

冒頭に「足るを知る」を心掛けているとお伝えしました。コロナ禍で大変な状況ですが、見方を変えれば、今の自分には何ができるのかをよく考えるチャンスでもあります。現状に臆せず、前向きに捉えていただきたいです。皆様のご活躍を期待しております。

株式会社ギガス 代表取締役社長 兼子 義之氏

